

第八十六回帝國議會
衆議院

恩給法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案

恩給法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第一七號)

明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第一八號)

昭和二十年二月二日(金曜日)午後一時五十二分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 古田喜三太君

理事 川崎巳之太郎君 理事 宗前 理事 高野孫左衛門君

芦田 均君 牛塚虎太郎君

大石 大君 金子 定一君

河盛安之介君 木下 信君

河野 一郎君 高岡 大輔君

林 信雄君 坂東幸太郎君

牧原源二郎君 三浦 虎雄君

山崎 常吉君

出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長 平木 弘君

內閣統計局長 川島 孝彦君

法制局長官 三浦 一雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案ヲ議題トシテ討論ニ付シマス
○川崎(巳)委員 私ハ只今委員長ノ御讀上デニナリマシタ二ツノ法案ニ付キマシテ、翼政會ノ意向ヲ代表シテ一言簡單ニ申上ゲタイト思フノデ、一番初メノ恩給法中改正法律案デゴザイマスガ、恩給法ハ御承知ノ如ク大正十二年四月ニ法律第四十八號出テ居リマスガ、丁度其ノ間ニ九回、詳シク言ヘバ或ル年ニ二度直シタコトガアリマスカラ、十回目ノ改正デゴザイマス。今度ノ改正ノ要點ハ、今ノ苛烈ナル戰爭ニ連レテ起リマシタ色々ノ現象ヲ整理スルノニ極メテ必要ナル點ヲ擧ゲタモノト考ヘルノデアリマス、詰リ政府提案ノ理由ハ本會議及ビ此ノ委員會ニ於テ夙ニ説明セラレタ如ク、第一點ハ二階級昇進ノ者ニ對シテ今マデノ恩給法ニ依リマスト色々適用ノ圓滑ナク所ガアリマスノデ、ソレヲ圓滑ニスル爲ニ第五十九條ト第七十五條ニ或ル但書ヲ付ケタノデアリマス、其次ニハ内地モ此ノ項第一線ト同ジ空襲ヤ何カデ交戦地域ニナツテ居リマスノデ、其ノ交戦地域内デ働イテ居ル者ノ恩給年限ノ數ヘ方ニ、今マデノ一般ノ内地ト違フ數ヘ方ヲシテ手加減ヲスルコトデアリマス、其次ハ臺灣人、朝鮮人ガ本籍地デ勤務シタ場合ノ恩給デアリマスガ、是ハ内地人ガ臺灣、朝鮮デ勤務シタ場合ニ恩給ノ付ケ年限ノ數ヘ方ガ殊ル、ソレヲ固有ノ自分ノ本籍地デハ其ノ限リデナイト云フヤウニシタノデ、是モ適當ナル話ダト思ハレルノデアリマス、臺灣、朝

鮮ニ徴兵制ヲ布キ其ノ他ノコトモシタノデ、是ハ當然ト思ヒマス、其次ノ特色ハ附則デ以テ三箇條バカリ加ヘマシテ、大東亞戰爭勃發前ニ、失格ノ原因ナクシテ退職シタ者ニハ、割増ノ付ク今度ノ傷病年金デ將來増給スルト云フコトモアリマス、ソレカラ附則ノ第三條ニ於キマシテハ、二階級昇進シタ者ノ遺族ニ對シテハ今マデノ古イ規定ノ計算デ恩給ヲ給與シテ居ツタノヲ、今度ノ増率スル方法デ給與スルト云フコトニシタ、是モ亦至極當然ト思ヒマス、ソコデ一番此ノ恩給法ノ改正ノ主眼デアリマスノハ、二階級特進ノ者ニ對スル、及ビ其ノ遺族ニ對スル待遇デゴザイマスガ、是ハ平生ハ餘リアリマセウガ、今度ノ大東亞戰爭ニ於テハ殊動甲デ二階級特進ヲシタ者ガ澤山アリマス、'ビルマ'ニモ支那ニモアル、南方ノ戰地ニモアル、殊ニ'ミッドウェイ'ナドデハ司令官、艦長ナドガ悲壯ナル最期ヲ遂ゲマシテ、日本軍人ノ華ヲアノ海ノ中ニ咲カシタ者ハ二階級特進、殊動甲ノ恩典ニ與ツテ居ルヤウデアリマス、斯様ナ者ハ同ジク戰功ヲ行フニシテモ特別ノモノガ何カ欲シイト一般國民ハ思ツテ居リマシタノニ、今度ハソレニ對シ格段ノ不利益、不圓滑ナ點ヲ直シヤウニナツタノハ至極結構デアリマス、其次ハ眞珠灣デモアリ、'シドニー'デモアリ、'マダガスカル'デモアリ、殊ニ最近ノ'フィリピン'臺灣等ノ海陸ニ於キマシテ新シク始メマシタ特攻隊、其ノ中ニモ臺灣出身者ヤ半島出身者モアリ、一億國民ガ感激シ

テ居リマス、其ノ遺家族ニ對シテノ特色ノ手當ト云フコトヲ深ク考慮セラレタヤウデゴザイマス、但シ本當ヲ言ヘバ特攻隊ガ活躍シテ戰爭ニ功勞ガアルト云フハ餘リ幸福ナコトデハナイ、ナイケレドモ今ノ場合仕樣ガナイ、是デヤル外ハナイ、特攻隊ノ出來ルト云フハ日本デナケレバ出來ナイ、斯様ナ計畫ハ日本ノ軍デナケレバ出來ナイコトデゴザイマス、ソコデ昔ハ日露戰爭ノ時ニ旅順港閉塞隊ガアツテ、アノ聯合艦隊ノ參謀部ニ於テハ立案ヲシテアノ案ヲ出シタ所ガ、係員ガ港灣ヲ閉塞シテ後完全ニ歸ル途ヲ立テナケレバ、上官トシテ命令スル譯ニ行カナイト、聯合艦隊ノ司令官東郷大將ハ言ツテ承知シナカッタ、ソコデアノ閉塞隊ノ人達モ、斯様ナ方法デアレバ、マア其ノ場合戰死スルノハ覺悟ダケレドモ、必ズシモ戰死シナイ、斯様ナ途ヲ付ケタラ救フコトニナリマセウト云フコトデ、東郷サンハ初メテ承知セラレタト云フ、奧床シイ話ヲ聞イタノデアリマスガ、今デモ上長官ハ同ジ立場ニアルダラウト思フノデアリマス、然ルニ今度ハ左様ナ歴史及ビ上官ノ情誼ガ依然トシテアルニ拘ラズ、此ノ特攻隊ヲ用ヒナケレバナラヌ、事程左様ニ戰爭ガ熾烈ニナリマシテ、ソシテ若人ガ相競ツテ特攻隊ニ選バレルコトヲ名譽トシテ出掛ケルト云フ、洵ニ盛ソナ景色デアリマスノデ、私共ハ尋常ニ招魂社ニ御祀リスルヨリモ、特別ノ祭神トシテ何カマア階段ヲ付ケタイト國民トシテハ考ヘテ居ツタノデアリマス、併シ是

ハ從來ノ慣例ニ依ツテ、二階級特進及ビ名譽ノ表彰ヲスルト云フダケニナツテ居リマシタケレドモ、今度ニ等ノ方方ニ向ツテ二階級昇進ノ者云々ト云フコトデ、色々適用ニ不利益ノ恩給法ヲ改正ヲシタト云フノハ至極適當ト思ヒマス、是デアツテコソ皇軍ノ眞價ヲ發揮スルコトガ出來ルヤウニナルダラウト思フノデアリマス、デゴザイマスカラ今度ノ恩給法ノ改正ハ洵ニ時宜ヲ得タモノ、機宜ニ適シタコトデアルト存ジマスノデ、之ヲ此ノ委員會總一致デ通過スルヤウニ願ヒタイト私ハ希望スルノデアリマス、同時ニ色々質問應答ノ中ニモアリマシタヤウニ、此ノ戰時ニ際シマシテハ外ノ法律ガ色々恩典等ニ付テ變ツテ居ル、例ヘバ大藏省管轄ノ相續稅ニ於テハ、文官デナイ公務員タル屬員、所謂軍屬ト云フ名義ヲ持ツテ居ル者ニデモ相續稅ハ戰死ノ場合ニハ全免スル、所得稅モ或ル期間ハ全免スルコト云フコトニナツテ居ルノニ、コチラノ恩給法ノ方ハ元々ガ文官及ビ軍人軍屬ノ官吏タル者ニト云フ建前デ行クノデ、サウナツテ居ナイト云フ所ガアリマスルケレドモ、戰爭ガ熾烈ニナツテ參リマシテ、官吏デアル、官吏デナイト云フ區別ガナクナツテ、一億國民ガ誰デモ挺身シテ總力戰デ戰フコトニナリマスルカラ、軍屬ノ範圍ナドト云フモノモ、モウ少シ整備シテ擴ゲル必要ガアルノデハナイカ、併シソレト同時ニ私立大學ヤ中等學校等ノ教授ノ恩給ハ文部省ノ財源デ以テ賄フ、船員ノ恩給ハ船會社ノ會計デ賄

フ、併シナガラ此ノ頃ノ船團輸送ナドノ任務ト云フノハ、老船長カ老機關士バカリデナクテ、マダ恩給ノ年齡ニ達シナイ若人達ガ競ウテ乗ツテ船ヲ運轉シテ呉レルヤウデゴザイマスルカラ、ソレ等トノ間ニ平均ヲサセルカ、或ハサウ云フ風ナモノノ缺損ヲ國庫デ支辨スルカ云フヤウナコトヲ考ヘラレマシテ、恩給法ト釣合ノ取レルヤウニ整備シテ戴キタイ、是ハ中々技術トシテモ面倒臭イ、又骨ノ折レルコトデゴザイマセウカラ、今直チニヤルコトヲ所望スルノデハアリマセヌガ、此ノヤウナ重大ナ戦局ヲ擔ツテ行クト共ニ、左様な課題ヲ政府及ビ議會ガ國民ニ對シテ擔ツテ居ルコトヲ十分ニ御認メ下スツテ、今後トモ左様な方面ニ意ヲ致サレソコトヲ希望シテ、恩給法ハ原案通り可決シタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ國勢調査延期ノコトデゴザイマスガ、是モ何回カ改正ガ加ハツテ居リマシテ、昭和十四年ニハ臨時ニ國勢調査ヲナスコトヲ得ト云フ項目モアリマスカラ、之ヲ活シサヘスレバ、必ズシモ明治三十五年ニ斯様な戦争ヲ豫想セズシテ拵ヘタ時ノ、十年ニ一回大調査、五年ニ一回ノ小調査ト云フ形式ニ提ハレル必要ハナカラウト思フノデゴザイマス、殊ニ昭和十五年ノ國勢大調査ノ例ニ見マシテモ、調査ニ要スル人員ハ二百萬人ニモナリ、用紙ガ千二百五十「キロ」モ要ツテ居リ、費用ハ八百五十萬圓モ要ツテ居ルト云フノデスガ、五年後ノ今回此ノ十月ニヤルトスレバ、是ノ何倍カノ人員經費ナドガ要ルノデゴザイマスカラ、何時デモヤルコトガ出來ル立場ニアルノニ、斯様なコトヲ今カラ工夫スル必要ハナカラウト思フノデゴザイマス、尤モ一方ニ於テハ産業戰士ヲ

徴用スル、ソレカラ軍ニ於テハネコソギ動員シテ第二國民兵ハ勿論、各種ノモノヲ動員スル、其ノ時ノ人の資源ハドウアルカト云フコトニ、國勢調査ガアレバハツキリシテ來ルヤウニモ思ヒマスシ、又大藏省等ニ於テハ多大ノ課税及ビ貯蓄ノ獎勵スルニ當リマシテ、日本ノ國民所得ハ年ニ何百億ダト云フ計算ノ概算ヲ毎年承ツタガ、今度ハ五百億圓ダ、今度ハ八百億圓ダト云フコトデ、蘇カラ棒デ大キナ金額ヲ差付ケラレル、ソレデケ實際ニ所得ガアレバ洵ニ結構デアルト喜ンデ宜イガ、儲テソレガドソナ基礎デ出テ居ルカト云フニ、ソコニ理窟ガアルヤウナ、ナイヤウナ曖昧ナコトニナツテ居リマスカラ、サウ云フ點カラ見レバ國勢調査モ必要デアルト云フヤウニ考ヘラレマスケレドモ、併シナガラ軍及ビ民間デ色々動員等ニ要シマスル勞務者ノ數ヤ何カハ、ソレハ必要ナコトヲ毎年殆ドヤツテ居ルヤウデアリマスカラ、今更大袈裟ナコトヲヤラナイデモ濟ムシ、且又是カラ先銃後ノ産業戰士ヲドノ位募リ得ル餘地ガアルカナイカ、幅ガ狭クナツテ居ルカドウカ、又兵員ノ動員ガドウナツテ居ルカト云フコトヲ、此ノ際オ互ヒニ交戰國同士デ隱シテ居ルノガ本分デアリマスカラ、今年十月何日カニ斯ウダト云フコトヲ決メテ曝ケ出スノモ餘リ得策デナカラウカト思フ、隣リノ部屋デ開催セラレタ兵役法改正法律案ノ委員會デモ、質問應答ヲ見マスルト、軍隊ノ動員ノ餘力ナドハマダノ、大部アルラシイシ、昨今ノ動員ガ昨年十二月ノ半バカラ攻勢ニ轉ズル爲ニ、四百萬ノ新編兵員ヲ拵ヘタ獨逸ノニ比べて、日本ハ事情ガ違ツテ、モツト餘裕綽々デアルト思フノデアリマス、ダ

カラ是ハハツキリ分ラセズシテ置ク方ガコチラノ強ミデアラウトモ思フ、旁、以テ來ル十月幾日カニ一齊ニヤルト云フコトダケハ延ベテ、其ノ他ノ機關ハ動カサスデアリマスカラ、必要ナモノハドソノヤルノデアリマスカラ、明治三十五年ノ國勢調査ヲ行フト云フ法律ノ特例ヲ今回開クト云フコトハ至極適當ナコトト存ジマスノデ、是モ至極贊成致シマス、以上ヲ以テ兩案ノ贊成ノ趣意ト致シマス

○古田委員長 討論ハ終結ニ致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○古田委員長 起立總員、仍テ本案ハ原案通り可決致シマシタ

此ノ機會ニ一言御挨拶ヲ申上ゲマス、本委員會開會以來連日ニ互ツテ委員諸君ニハ熱心ナル御質疑ヲ致サレ、又政府當局ニ於テハ親切詢ニ懇切ナル御答辯ガアリマシテ、茲ニ圓滿裡ニ原案ヲ可決致シマスコトハ、洵ニ慶祝ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、不束ナル私ニ對シテ寄セラレマシタル御厚意ニ對シ衷心ヨリ御禮ヲ申上ゲマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時七分散會